

contents

- ・世界最高性能新型 3T MRI 装置を導入
- ・第3回医療連携フォーラムのご案内
- ・2018年度版診療案内を発行
- ・診療科紹介
- ・新任教授紹介
- ・杏林大学公開講演会
- ・看護師向けがん看護研修



編集：杏林大学医学部附属病院
〒181-8611 三鷹市新川 6-20-2
Tel. 0422-47-5511 (代表)
<http://www.kyorin-u.ac.jp/hospital/>

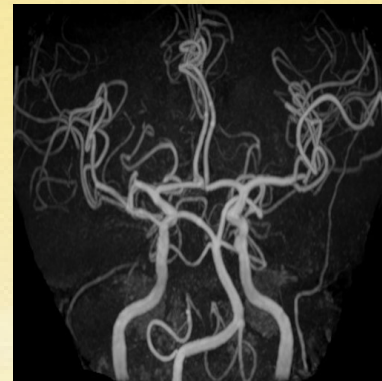
■ 世界最高性能 新型 3T MRI 装置を導入

外来棟地下1階放射線科に新型3T MRI装置「Vantage Galan 3T ZGO」が導入され、7月から運用を開始しています。

このMRI装置は、国内では初（世界で2番目）の導入となります。世界最高のパフォーマンスを実現するハードウェア（Ultra Gradient システム）を搭載しており、従来（最大傾斜磁場強度 45mT/m）の約 2.2 倍の 100mT/m の出力が実現されています。これまで以上に

高精細な画像が得られ、微細な血管などの構造を詳細に把握することが可能となっています。

放射線科 横山健一教授は、「このMRI装置により、従来と比べてより小さな病巣の発見や正確な診断に寄与することが想定されます。また導入に併せてAI（人工知能）を用いた画像再構成法などの臨床研究を進めており、新たな臨床的価値も期待されます」と話しています。



最新 3T MRI 装置での頭部血管像
（従来装置よりも末梢血管が鮮明に描出できる）

杏林大学医学部附属病院 第3回医療連携フォーラム

開催日 11月14日（水）
会場 杏林大学病院（第2病棟4階 大学院講堂）

【施設見学（希望者対象）】18時～18時45分

【第1部】19時～20時

市村正一病院長 挨拶、宇井義典三鷹市医師会長 ご挨拶、
塩川芳昭患者支援センター長 同センター紹介
（講演）

「泌尿器科の取り組み」 福原 浩 泌尿器科 教授

「安全で正確な肝胆膵がんの外科治療について」

阪本良弘 消化器・一般外科 教授

「杏林大学医学部附属病院の地域連携に望む」

医療法人財団慈生会 野村病院 野村幸史理事長

【第2部】20時～21時

情報交換会 外来棟6階 日比谷松本楼

患者支援センター 地域医療連携

皆様のご参加を
お待ちしております

2018年度版 診療案内を発行



冊子をご希望の際は、患者支援センター地域医療連携にご連絡ください。
代表番号 0422-47-5511（内線 5147）

◆ 眼科 (アイセンター)

KYORIN EYE CENTER



眼科学は多くの専門領域に分かれています。細分化・専門化した眼科診療に高水準で対応すべく、眼科総合診療センターとして杏林アイセンターを立ち上げ、来年で20年になります。

杏林アイセンターでは、網膜硝子体、角膜、白内障、緑内障、黄斑変性、眼炎症、眼窩・腫瘍疾患、小児眼科、ロービジョンケアに特に力を入れており、各専門外来を開設しています。

この2年で病棟の改築、外来の拡張工

事を行いました。プライバシーをより尊重するため、病室の個人あたりのスペースを拡張して各部屋にトイレを設置しました。外来は外来棟5階の全フロアとなり、診察室を増室して、小児眼科の患者さんからの要望が強かったキッズスペースも設けました。案内表示は診察室番号の他にAからDまでのレーンでも行っています。

今後も多くの患者さんに、より良い医療を提供できるように努めてまいります。

◆ 皮膚科



全身型紫外線照射装置

皮膚症状は、同じに見えても症状・経過が個人により異なるため、画一的な検査治療は行わず、患者一人ひとりに応じた適切な診療を目指しています。

外来診療での紹介患者数の増加（1ヶ月200人前後）に伴い、様々な貴重な皮膚疾患を診療する機会が増えました。そのため、午後の専門外来を充実させています。具体的には毛髪外来、アレルギー外来、レーザー外来、真菌外来、光線外来、腫瘍外来など

です。そして、各専門領域での難治性、慢性疾患の検査、治療を行っています。また、他科を受診したり、入院中に皮膚に異常を来したり、元々皮膚疾患を合併している患者さんに対する受診依頼、往診に適宜対応しています。

入院患者数も、昨年度の550人を上回り、増加傾向にあります。そして、悪性腫瘍、重症薬疹、水疱症など幅広く主要な皮膚疾患の治療に日々取り組んでいます。

◆ 糖尿病・内分泌・代謝内科



3月24日（土）に実施した糖尿病フェスタ

糖尿病、脂質異常症、肥満症等の代謝疾患、そして甲状腺、副腎、下垂体、副甲状腺等を含む内分泌疾患を担当しています。

糖尿病外来では、医師の診察の他、糖尿病療養指導士の資格を有する看護師・薬剤師・管理栄養士などによる面接や指導を、糖尿病療養指導外来で随時行っています。

そして糖尿病教室を教育入院のプログラムの一環として、毎日午後に実施しています。それぞれの症例に相応しい経口血糖降下薬の選択、ならびにインスリン療法（強

化療法も含みます）の導入とともに、血糖変動の著しい症例ではインスリンポンプ（CSII）を用いた治療を行っています。

最近使用が可能となった持続的な血糖測定システム（CGMS）を導入して、緻密な血糖制御も実施しています。

今年3月には院内で、第8回糖尿病予防フェスタを開催し、体験コーナーや相談コーナーへ多くの方々に参加いただきました。

平成30年6月就任 臨床教授紹介



救急総合診療科
高齢診療科・もの忘れセンター（兼任）
長谷川 浩（はせがわ ひろし）

千葉大学医学部 卒業 博士（医学）
千葉大学医学部附属病院、慶應義塾大学医学部老年科学教室、北里研究所病院内科、米国 Wake Forest University section of Cardiology Research Fellow 等を経て、平成15年杏林大学着任

救急医療・高齢者医療は地域の医療機関、地域の多職種の方々との密接な連携なくして進めることはできません。今後とも地域の患者さんおよび諸先生方、各職種の方々のお役に立てるよう力を尽くしていきたいと考えております。

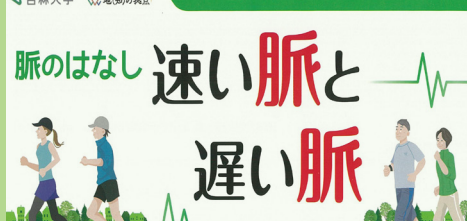
ぜひ皆様のご協力をいただければ幸いです。よろしくごお願い申し上げます。

杏林大学公開講演会

杏林医学会主催

※参加費・申込不要

第47回杏林医学会総会 市民公開講演会



11月17日（土）13:30-15:20
会場：杏林大学病院 大学院講堂
演者：循環器内科 教授 副島京子
特任准教授 佐藤俊明
特任講師 上田明子

看護師向け がん看護研修

【疼痛マネジメントコース】

第1回：11月16日（金）
「がん性疼痛のメカニズムとアセスメント」

第2回：1月30日（水）
「がん性疼痛の薬物療法」

第3回：2月22日（金）
「がん性疼痛緩和に関する臨床での実際」

各回開催時間：18:00-19:30 会場：杏林大学病院 外来棟10階

申込期限：11/9（金）
先着30名 ※参加費無料

全3回の参加を推奨しますが、各回のみも可能です。
申込み方法など詳細は、当院ホームページをご覧ください。